

開催日時：平成 30 年 1 月 27 日（土） 9 時 00 分～11 時 30 分

開催場所：霞ヶ浦環境科学センター研修室

講 師：横須賀 礼子 先生(NPO 法人阿寒湖のマリモ保護会)

参加者：35名



## 世界・日本の湖沼を知る

みなさんの身近には、霞ヶ浦という大きな湖があります。来年度、茨城県を舞台に世界湖沼会議が開催されます。そこで、今回のサイエンスラボでは、カスピ海、ウユニ塩湖、ナトロン湖などの世界の湖のクイズや紹介を行いました。そして、霞ヶ浦の恵みや文化について触れました。そして、「日本の湖を知ろう」ということで、今回のテーマである「マリモ」の生息する阿寒湖について学びました。阿寒湖について学習する際には、アイヌの文化に触れ、ムックリという楽器やアイヌ語についても紹介しました。マリモはアイヌ語では・・・「トーサラウンベ」と言います。

## マリモをつくろう

マリモは絶滅危惧Ⅰ類（環境省）であり、マリモを守るために活動をしている方がいます。このマリモをサイエンスラボで「かけがえのないいのち・自然を守り、育てたい」という思いを込めて、作製しました。

まず、マリモをおたまですくい、手にのせます。そして丸めて核となるマリモを作り、少しずつ、少しずつマリモを足していき、よく丸めます。水の中の細かなマリモを集めて、大きなかたまりにしていきます。しばらくすると少しずつ大きくなっていきます。おたまで転がして“も”を着ける方法にもチャレンジしている姿もありました。



1分…10分…20分…30分…時は流れ…完成です！容器を準備し、自作のマリモを入れます。みんな一生懸命に集中して取り組み、オリジナルのマリモを作製することができました。マリモは「初めのうちは丸くないもの状態」→「“も”と“も”がだんだんからまる」→「湖の水の動きで丸くなる」というしくみで丸くなります。



その過程を実験で再現できました。

## 自分なりの「環境宣言」をしよう

マリモの作製が終わったら、家族や友達と写真撮影を行いました。そして、ゆたかな自然環境を地球の未来に残すために今日からできることを考えました。小学生、中学生の皆さんも大人の方も本当に素晴らしい宣言を考えてくださいました。一部紹介します。

### ＜参加者の声＞ アンケートから一部紹介♪

わたしは未来のこどもたちにきれいな地球で生活できるように水を大切に使います。

小さな、小さな命も大切にします。

ぼくはマリモのためにがんばって育てます。

私はマリモを増やすためにちょうどいい場所をさがします。

水を汚さない工夫（汚れをふいてから皿洗い、油を流さない）をします。

環境に良い食べ物を食べます。

マリモをしっかり育てます。マリモに愛を注ぎます。

進んでごみを拾うことを心がけます。

自然がなくならないように植物を育てていきたいです。

豊かな生物の環境をつくり生き物たちと仲良く共存しよう。

マリモちゃん、元気にしてね。水がきれいになるよう注意して生活します。

霞ヶ浦にマリモがすめるようにしたいです。

霞ヶ浦を汚さないように食べ残しをしないようにします。

洗濯をするときに汚れをまずのぞいてから適量の洗剤で洗います。

自分とみんなにポイ捨てをしないようにする呼びかけをします。

— ご参加ありがとうございました。 —